

学園祭でブックトーク

3E cafe project team x Library

どなたでも参加できます！

1冊の本との出会い。

あなたの日常をより豊かにするブックトークを開催します。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。

沈黙の春

レイチェル・カーソン著 青木築一訳

ほか数冊

[請求記号：519-C22]

1962年に、生物学者であるレイチェル・カーソンが記した著作の翻訳。

「生命あるものはみな、自然と一つだった。」

「いままで見たこともきいたこともないことが起こりだした。若鶏はわけのわからぬ病気にかかり、牛も羊も病気になるって死んだ。」

「自然は、沈黙した」

「春がきたが、沈黙の春だった。」

-「明日のための寓話」より-

食品添加物や農薬って、なんだか怖い。

でも、無添加・無農薬食品は高い……。

ダイオキシンとか環境ホルモンとか、

最近騒がれなくなったけど、大丈夫なの？

このようなこと、ふと考えたこと、ありませんか？

様々な技術や化学物質があふれている今の世の中には、身近なところに多くの「リスク」が存在しています。けれど、それらがあるおかげで今の生活が便利になっているのも、紛れもない事実です。

今回のブックトークでは、特に**化学物質に注目して**、このような「**リスク**」とどう向き合っていけば**よいか**考えるきっかけとなる本をご紹介します。

Talker 熊谷 現

(筑波大学大学院生命環境科学研究科 M2年)

3E cafe プロジェクトチームは、「3E カフェ」を運営する筑波大生を中心としたグループです。

学園祭期間中は、1D204 にてイベントを開催しています。

<http://t3ecafe.me.land.to/>



手塚治虫の理科教室

手塚治虫著 福江純

ほか数冊

『理科』って、教科書で勉強する難しい世界だと思いませんか？

理科に興味をもつと、日常が2倍3倍……無限におもしろくなります！

通学路にいつもいるヘンな生物、突然大発生する虫、いつのまにか生えている草や木……それらが、**生きるためにしている“工夫”を1つ知るたびに、いつもの道に発見がいっぱい生まれます！**

生命の進化に想いを馳せてみましょう。自分と周りの生き物とのつながりを感じ、きっと「すごいなあ」と思うはずです。

今回ご紹介する本を通して、“理科”という視点から「**“おもしろい”ことの見つけ方**」をいっぱい持って帰っていただけたら幸いです。

Talker 清水 智子

(筑波大学生物資源学類 4年)

日時：10月11日、12日
11:00-12:00

場所：中央図書館集会室
(エントランスを入ってすぐ)